

【報告】「第1回やまがたビブリオバトル」を山形県立図書館にて開催
——本の紹介プレゼンで約20人が交流——



開催案内

2024(令和6)年8月12日(月祝)、山形県立図書館アクティブラーニングルームを会場に、「第1回やまがたビブリオバトル【📖奥羽「本」戦📖】」を開催しました。

※ビブリオバトルとは

本の紹介をエンターテインメント化したイベント。発表者数人が、それぞれの紹介したい本について5分でプレゼンし、参加者との間で対話。全員のプレゼン後、参加者が「いちばん読んでみたい本」を投票で選び、表彰する。各地の公共図書館や学校などで行われている。

このイベントは、有志による市民グループ「やまがたビブリオバトル実行委員会」が、本や読書を通じたコミュニケーションの場を作ろうと企画したものです。

参加者はオンライン含め約20名。仙台や東京からもご参加いただきました。文豪の名作や、生態学の新書、短歌集など多彩な本が紹介され、それらの本を囲んで自由に語り合う時間も盛り上がりました。

紹介された本

- ・『仁尾智 猫短歌集 いまから猫のはなしをします』(仁尾智)
- ・『〈オールカラー版〉魚はエロい』(瓜生知史／光文社新書)
- ・『ナボコフの文学講義』(ウラジーミル・ナボコフ／河出文庫)
- ・『眠れる美女』(川端康成／新潮文庫)



当日の様子

著者からメッセージ

「X(旧 Twitter)」で開催報告したところ、『いまから猫のはなしをします』の著者の仁尾智さんが見つけてくださり、喜びのメッセージをいただきました。

「ビブリオバトルの出場本に拙著が……。ありがとうございます！」
 (2024年8月18日 仁尾智さん X投稿 https://x.com/s_nio/status/1825118942219620497)

謝辞

会場を提供いただきました山形県立図書館さん、開催情報を拡散いただきました山形若者支援コンシェルジュ¹さん、ONE TOHOKU²さん、その他のみなさん、ありがとうございました。

次回開催予定

終了後、参加者から第2回の開催を望む声が多く寄せられ、発表をしてみたいという参加者も複数現れました。そこで、「第2回やまがたビブリオバトル」を、2025(令和7)年2月11日(火祝)に開催する予定で現在準備しております。

お問い合わせ・取材対応

やまがたビブリオバトル実行委員会(メール: [yamagatabib\[@\]gmail.com](mailto:yamagatabib[@]gmail.com))

¹ 山形県による、県内の若者の地域活動を応援する事業。 <https://yamagata-okoshiai.net/cabout/>

² (一社)ONE TOHOKU HUB が運営する、仙台・東北の若手社会人コミュニティ。 <https://onetohoku1226.mystrikingly.com/>

附録:AIによる要約(録音データをAI要約し、編集して作成)

・開会の挨拶と進行説明

司会者が開会の挨拶を行い、ビブリオバトルのルールと進行について説明しました。発表者は5分間で持参した本を紹介し、その後に質疑応答の時間が設けられることが説明されました。最後に投票を行い、最多得票の本を優勝とすることが伝えられました。

・第1発表者による本の紹介

最初の発表者は、猫の短歌集『いまから猫の話をします』を紹介しました。この本は猫の保護活動をしている作者が、猫にまつわるエピソードを短歌にしたものです。発表者は、猫を飼っている人や自由気ままな人にとってこの本が心に響くだろうと述べました。いくつかの短歌を朗読し、猫との触れ合いから得られる幸せについて語りました。

・第2発表者による本の紹介

2人目の発表者は、瓜生知史の『オールカラー版 魚はエロい』を紹介しました。この本は生物学の視点から魚の生態を描いた作品で、ヒトとは次元の異なる魚の性や生殖に注目しています。発表者は、生物が好きな人におすすめの一冊だと述べました。バスの中で読むと面白いと提案し、作者の経歴についても触れました。

・第3発表者による本の紹介

3人目の発表者は、ナボコフの『ナボコフの文学講義』を紹介しました。この本は作家ナボコフが大学で行った文学講義をまとめたものです。発表者は、ナボコフが最初に使った「ロリータ」という言葉の由来や、良い読者と良い作家の条件について解説しました。ナボコフの文学観を一部紹介しながら、この本を通して文学の本質に触れることができると述べました。

・第4発表者による本の紹介

最後の発表者は、川端康成の『眠れる美女』を紹介しました。この作品には生々しい描写が多く含まれつつ、言葉の美しさも際立っています。発表者は、圧倒的な描写力と言葉の美しさがこの小説の魅力だと述べました。あらすじを一部紹介しながら、読後に残る強烈な印象について語りました。三島由紀夫による解説も素晴らしいと付け加えました。

・質疑応答とブレイクタイム

発表者による本の紹介の後、質疑応答の時間が設けられました。参加者から発表者に対して質問がなされ、紹介された本についての対話が交わされました。その後、ブレイクタイムが挟まれ、参加者同士で自由に交流する時間が設けられました。

・投票と優勝者の発表

ブレイクタイムの後、投票が行われました。集計の結果、最多得票は『いまから猫の話をします』に決定しました。この本の紹介者には表彰状が贈られ、優勝の喜びの言葉が述べられました。最後に、次回開催についても触れられました。